

県高校総体 市内2校の選手が躍動 九州大会、インターハイへ

5月から6月にかけて開かれた第61回佐賀県高等学校総合体育大会で神埼高校と神埼清明高校の選手たちが躍動しました。今回は、個人で全国高校総体（インターハイ）へ出場を決めた4人を紹介します。



神埼清明高での活躍を思い描き 中学から単身で神崎市へ

新体操 **個人総合1位** このすけ 中田 光乃介さん

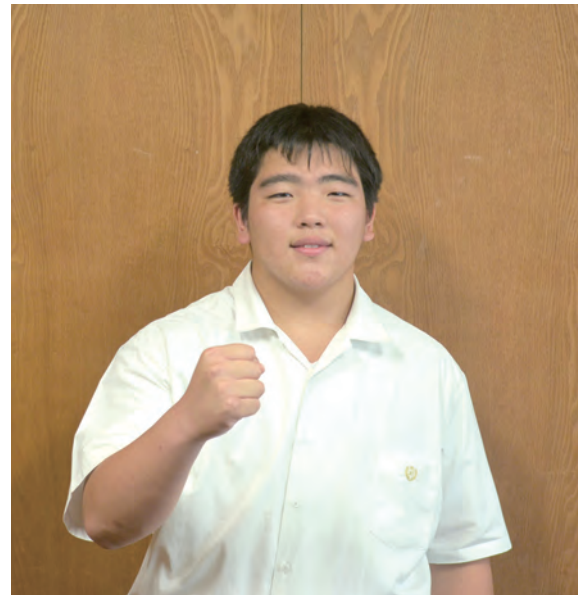
（神埼清明高2年・神埼町大依・青森県出身）

コンディションは良かったものの、会場が普段の練習場とは違い、多くの人前で演技する緊張感もあった。また、個人総合は全選手が同じ神埼清明の選手なので、演技に立ったらライバルだと意識して臨んだ。リングの演技でミスをしてしまったが、スティックではノーミスだったので立ち直り、気持ちがリセットできた。昨年も優勝していて連覇のプレッシャーがあった中で、勝つことができてホッとした。まだまだタンブリングで良さが出せていないので、インターハイではノーミスの演技をしたい。

小学4年生で相撲を始め 陸上部でもトレーニングを

相撲 **個人無差別級準優勝** そうた 佐藤 蒼太さん
（神埼清明高2年・神埼町協和町）

コンディションは良かったが、ウォーミングアップがうまくいかず思うような相撲がとれず、悔しさが残った。得意とする押し相撲ではなく、組み相撲になってしまったことが敗因となった。優勝する気で臨んでいたのに、チャンスを逃して悔しい。監督や応援してくれている人にも申し訳なかった。ただ、知らない相手でも、相手の動きを予想してみることができた。相手のペースに合わせてしまう傾向があるので、インターハイでは自分の相撲をとって、ベスト16に入りたい。県大会で優勝を逃した分、全国で勝ち進んでいきたい。



中学からカヌーを始め 中学時代にペアで日本代表としてU16アジア大会出場も

カヌー・女子カヤック **シングル優勝** ほのか 元石 暖華さん
（神埼高1年・吉野ヶ里町）

高校生になって初めての大会で、負けたくないという気負いもあって少し緊張していたが、コンディションはよく準備段階から順調だった。レース(500m)は後半勝負だと思っていて、ラストスパートがきいて自己ベスト(2分19秒98)を出すことができた。全国でみるとまだ力がなく、持久力や瞬発力をつけなければならぬし、もっと体を大きく使ったパドリングをするなどの課題があり、練習に励んでいる。インターハイではシングルでも、ペアでも入賞することが目標。自己ベストを更新してぜひとも入賞したい。

小学6年生でカヌーを始め 中学時代に全国大会で優勝など

カヌー・男子カナディアン **シングル優勝** 峯佳生^{かなる}さん
(神埼高1年・吉野ヶ里町)

高校生として戦えることが嬉しくて、頑張ろうと決意していた。コンディションは良く、あまり緊張もせずに臨むことができた。500mの記録は自己ベストの2分11秒64。初めて2分20秒を切ったが、本当は2分10秒を切りたかったので、少し悔しさもある。全国レベルを考えるとまだまだ力不足で、体格や体力が必要だし、フォームもできていない。インターハイではペアやフォアにも出場するので、しっかり食べながら練習を積み、ぜひ勝ち進んでいきたい。特に、シングルは優勝を目標に頑張りたい。



県高校総体 各競技で好成績

神埼清明 新体操男子団体 **優勝**



神埼 サッカー女子 **優勝**



神埼 カヌー男子・女子



神埼清明 ハンドボール男子 **準優勝**



神埼清明 陸上



棒高跳 **優勝** 竹原^{りこ}里恋さん (1年) 写真左

走高跳 **3位** 真木^{しょうだい}翔大さん (3年) 写真中

200m **3位** 山口^{たいせい}泰征さん (3年) 写真右

400m **準優勝**

ペア **優勝** 笹川^{しんご}真吾さん、峯佳生さん

フォア **優勝** 笹川真吾さん、峯佳生さん
前田^{くろが}空我さん、大石^{せいや}誠也さん

ペア **優勝** 入嶋^{はるか}遥愛さん、元石暖華さん

フォア **優勝** 入嶋遥愛さん、元石暖華さん
末次^{はるか}はるかさん、小川^{はるか}遥さん



5/12
19

民生委員児童委員があいさつ運動

児童の登校見守り

神埼町民生委員児童委員協議会による「登校見守りあいさつ運動」が、神埼町内各小学校の通学路で行われました。

この運動は、5月12日から18日までの「民生委員・児童委員活動強化週間」に合わせて今年から実施されたもので、児童の「おはようございます」という元気な声が快晴の空に響き渡りました。

また、千代田町民生委員児童委員協議会は、毎月1回、千代田町内各小学校の通学路で同活動を行っており、5月19日は小雨の中、登校を見守りました。



5/25

脳トレクイズなど予防法学ぶ

神陽団地で認知症出前講座

神埼町の神陽団地公民館で認知症出前講座が開かれました。おたっしや本舗の原田千津香さんが認知症の基礎知識をはじめ、予防法などについてわかりやすく解説。地域の高齢者が熱心に耳を傾けました。

講座では、記憶障害と単なる物忘れの違いは、考えたり行動したこと自体を忘れたり、覚えることができず、思い出せなくなることだと説明がありました。

認知症の予防法として脳トレのクイズやストレッチ、言葉の並べ替えクイズなどの紹介があり、皆で和気あいあいと取り組みました。



5/21
28

神崎市ソフトボール大会

21 チームが熱戦を展開

第18回神崎市ソフトボール大会が、市内各グラウンドで行われ、21地区が参加し熱戦を繰り広げました。各パートの結果は以下のとおりです。



●Aパート

優勝 本堀
準優勝 鶴田

●Bパート

優勝 岩田
準優勝 平ヶ里



5/31

最後のチャレンジデー

金メダル獲得

神崎市チャレンジデー2023が開催され、今回は宮城県角田市と対戦しました。

神埼市の参加率は59.6%で、角田市(30.9%)に勝利。参加率55%以上を記録し、金メダルを獲得しました。

当日は市内体育施設を無料開放し、市内各所でさまざまなスポーツイベントが行われました。

チャレンジデー事業の終了に伴い、今回が最後のチャレンジデーとなりました。神崎市は2010年から計14回参加し、12個の金メダルを獲得しました。ご参加ありがとうございました。



5/31 SAGA2024 開催 500 日前記念イベント 誰もが楽しめるニュースポーツ体験

チャレンジデーにあわせ、SAGA2024 のデモンストレーションスポーツ「フライングディスク」と「いごてだま」の体験会を開催し、市内の子どもたちが参加しました。

フライングディスクは、ディスクをコントロールするのが難しく子どもたちは投げ方を工夫しながら的を狙っていました。

また、*いごてだまは実際に見るのも初めての子どもたちばかりで、興味深々な様子でプレーしていました。

※いごてだま…囲碁の盤の様なマスにお手玉を投げて得点を競うスポーツ



6/1 春の叙勲「瑞宝双光章」受章 神埼双葉園 藤谷園長が受章報告

令和5年春の叙勲で瑞宝双光章を受章された、神埼双葉園の藤谷顯園長が、市長を表敬訪問しました。

藤谷園長は、神埼双葉園をはじめ、なごみこども園（多久市）や三里保育園（小城市）の設置運営責任者を務めるとともに、全国社会福祉協議会日本福祉施設会の佐賀県会長に就任されるなど、保育の質の向上と地域の子育て支援に多大な貢献をされています。

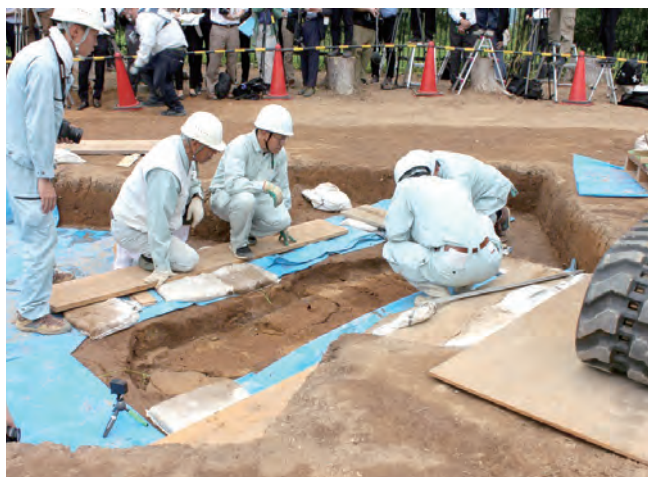
藤谷園長は「神埼双葉園は歴史があり、今後も地域に根付いた保育園として、子育て支援に尽力していきたい」と話されました。



6/5 吉野ヶ里遺跡 「謎のエリア」で発見 石棺墓調査

吉野ヶ里遺跡の「謎のエリア」で新たに見つかった「石棺墓」のふたが開けられました。この石棺墓は弥生時代後期のもので、約 1800 年ぶりに姿をあらわしました。

当日は重機で石ぶたを慎重につり上げて、内部調査が行われました。石ぶたには「×」などの記号が多数刻まれており、有力者の墓である可能性が高いと見られています。この発掘の様子は全国ニュースとなり、大きな話題となりました。



6/7 仁比山保育園児がサツマイモ苗植栽

仁比山保育園の園児が園近くの畑でサツマイモの苗を植えました。これは、有限会社アグリベースにいやま（神埼町石井ヶ里）から「子どもたちに農業体験をさせてあげたい」と声をかけていただき実現しました。

園児たちは、担当者から植え方を教えてもらいながら、優しく丁寧に苗を植えていきました。

最後はみんなで「おおきなーれ！」と魔法の言葉をかけ、苗の成長を願いました。秋の収穫が楽しみです。

